

## 四国、伊予市森海岸のビーチロック – 温帯域のビーチロック –

田中好國（元兵庫県立播磨特別支援学校）、沖野新一・水木崇行（伊予市教育委員会）

### 要旨

四国で最初のビーチロックは愛媛県伊予市森海岸にあり、1994年に鹿島、千葉らによって発見されたが、そのいきさつまでのエピソードが紹介（千葉、1997）された以降報告はなかった。今回、伊予市教育委員会の方と合同で調査をする機会をもつことができたので現地調査の結果に基づいて、温帯域のビーチロックについて報告する。日本でもヨーロッパ同様に温帯地域でもビーチロックがかなり存在することが明らかになった。本地域のビーチロック（伊予ビーチロック）は、和泉層群を流下する地下水の  $\text{CaCO}_3$  が海浜堆積物に沈着して固結が進行したと思われる。

### 1. はじめに

ビーチロック<sup>1)</sup>は熱帯～亜熱帯のサンゴ礁海岸に多く分布するといわれている（Guilcher, 1961；目崎、1981；田中、1990）が、ヨーロッパではイギリス、イベリア半島、地中海沿岸からは多数報告され、南半球では  $30^\circ$  近辺からの報告例もあり、温帯域におけるビーチロックの分布はよく知られ、比較的研究されてきたといえる。

日本でも、ビーチロックという地形用語が米谷（1963）によって紹介され、奄美群島や琉球列島以外でも温帯の九州及びその周辺島嶼からいくつか報告されてきた。九州では、1963年頃から西側島嶼での発見例が多かったが、1994年に初めて東側の大分県屋

形島でも報告（三浦・千田、1994）され、九州東部や四国にビーチロックの存在が予想されたが最近まで報告されることはなかった。

しかし、筆者は最近、愛媛県伊予市の広報誌『広報いよし』（伊予市社会教育課、2012）を見る機会があり、その掲載記事から、四国で初めてのビーチロックの存在を知った。さらに、この広報誌に紹介されていたビーチロックの発見の動機も知り（千葉、1997）、今回（2016年4月）現地調査を行った。このビーチロックには人工物が含まれ、それにより形成年代・形成期間も推定でき、四国で初めて発見されたビーチロックとして資料的価値も高いと思われるので、ここに紹介することにする。

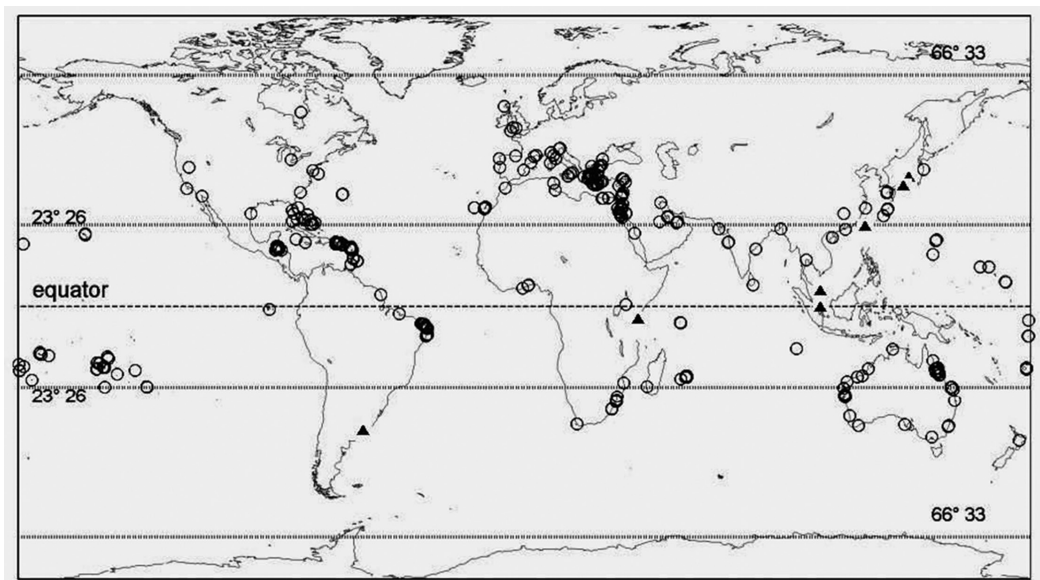


図1 文献から得られたビーチロックの主要な分布（Vousdoukas et al, 2009 に筆者がデータを追加：▲）